

姫路市地域自立支援協議会当事者部会での意見について

1 開催日

令和6年1月16日（火）

2 参加者

会場 13名

オンライン 4名

3 参加者の意見

- ・ バリアフリー化が不十分である。一般企業に訴えてほしい。
- ・ インターネットが普及し、家にも情報を受け取れるので、それを利用して社会参加をしていない若い方を引っ張っていく体制づくりが必要。
- ・ 精神障害で、病院に行けていない人もいるため、アウトリーチに力を入れてほしい。自治会、民生委員のような人たちが発掘してほしい。
- ・ 福祉といっても多種類の支援があるので、チームとして連携すればよいのではないかと。
- ・ 医療的ケアが必要な児童は、ヘルパーと訪問看護の2箇所の事業所を探さなければならないので、1箇所で情報が得られたら良い。
- ・ トイレに大人のおむつ交換のできるベッドが欲しい。
- ・ 透明ディスプレイや筆記ボード等、難聴者のコミュニケーション手段の確保をしてほしい。
- ・ 日常生活用具の選択肢を増やしてほしい。
- ・ 当事者のサークルを作ろうとしているが、どちらに相談したらよいか。
- ・ 特別支援学校の教員になるには、「特別支援」の科目を取らなければならないが、その科目をとることによって「特別支援」になってしまうのではないかと。インクルーシブが求めていることはそうではない。